

四半期報告書

(第59期第3四半期)

自 2020年7月1日

至 2020年9月30日

美樹工業株式会社

兵庫県姫路市東延末二丁目50番地

(E00315)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2
- 3 経営上の重要な契約等 3

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 4
- (2) 新株予約権等の状況 4
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 4
- (4) 発行済株式総数、資本金等の推移 4
- (5) 大株主の状況 4
- (6) 議決権の状況 5

- 2 役員の状況 5

第4 経理の状況 6

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 7
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 9
 - 四半期連結損益計算書 9
 - 四半期連結包括利益計算書 10

- 2 その他 14

第二部 提出会社の保証会社等の情報 15

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年11月12日
【四半期会計期間】	第59期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
【会社名】	美樹工業株式会社
【英訳名】	MIKIKOYO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岡田 尚一郎
【本店の所在の場所】	兵庫県姫路市東延末二丁目50番地
【電話番号】	079（281）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 魚澤 誠治
【最寄りの連絡場所】	兵庫県姫路市東延末二丁目50番地
【電話番号】	079（281）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 魚澤 誠治
【縦覧に供する場所】	美樹工業株式会社 大阪支店 （大阪市中央区道修町三丁目6番1号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第58期 第3四半期連結 累計期間	第59期 第3四半期連結 累計期間	第58期
会計期間		自2019年1月1日 至2019年9月30日	自2020年1月1日 至2020年9月30日	自2019年1月1日 至2019年12月31日
売上高	(千円)	23,093,077	20,945,084	29,887,483
経常利益	(千円)	1,291,032	1,192,455	1,371,332
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	(千円)	1,200,545	719,506	1,071,290
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,290,525	816,601	1,121,681
純資産額	(千円)	14,582,847	15,068,636	14,413,746
総資産額	(千円)	29,078,771	27,813,665	27,678,836
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	1,098.15	658.18	979.93
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	—	—	—
自己資本比率	(%)	44.20	47.74	45.97

回次		第58期 第3四半期連結 会計期間	第59期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自2019年7月1日 至2019年9月30日	自2020年7月1日 至2020年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	589.36	266.19

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、今後の推移状況を注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

① 経営成績

当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績につきましては、当社の設備事業セグメントにおいて工事の進捗による完成工事高の減少や住宅事業セグメントにおける引渡棟数の減少の影響等により、売上高は前年同期比9.3%減の20,945,084千円となりました。

利益につきましては、売上高が減少した影響から、営業利益は前年同期比5.8%減の1,198,936千円、経常利益は前年同期比7.6%減の1,192,455千円となりました。

また、当社において前年同期に固定資産の譲渡により特別利益を計上していた影響等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比40.1%減の719,506千円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別営業利益には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでおります。

<建設事業>

建設事業セグメントに関しましては、大型工事のうち土壌改良や設計変更の影響から工事が一時中断した物件が複数発生したことにより進捗が遅れた影響等から、売上高は前年同期比5.6%減の7,319,788千円、営業利益は前年同期比4.4%減の471,941千円となりました。

<設備事業>

設備事業セグメントに関しましては、当社において太陽光発電所関連工事の減少や工事の進捗による影響に伴い、売上高は前年同期比18.4%減の3,264,387千円、営業利益は前年同期比9.7%減の145,007千円となりました。

<住宅事業>

住宅事業セグメントに関しましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社及び株式会社リブライフにおいて前年同期と比較して引渡棟数が減少した影響等により、売上高は前年同期比8.5%減の8,745,663千円となりました。しかしながら、販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は前年同期比27.2%増の149,156千円となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業セグメントに関しましては、当社において前連結会計年度に不動産収益物件を売却した影響等から売上高は前年同期比15.3%減の1,030,361千円となりました。しかしながら、株式会社リブライフにおいて事業の見直しにより販売費及び一般管理費が減少した影響等から、営業利益は前年同期比2.3%増の305,046千円となりました。

<その他事業>

その他事業セグメントに関しましては、当社において新たに太陽光発電所を取得した影響により、売上高は前年同期比4.7%増の584,882千円となりました。しかしながら、太陽光発電所の取得に伴い減価償却費等の売上原価が増加した影響により、営業利益は前年同期比34.4%減の131,842千円となりました。

② 財政状態

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計に関しましては、受取手形・完成工事未収入金等やたな卸資産が減少しましたが、現金預金が増加したことや、当社において太陽光発電所を2ヶ所取得し機械・運搬具が増加したこと等により、27,813,665千円（前連結会計年度末は27,678,836千円）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計に関しましては、当社において太陽光発電所取得に伴い長期借入金が増加しましたが、工事完成に伴う未成工事受入金の減少等により、12,745,028千円（前連結会計年度末は13,265,090千円）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計に関しましては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等により15,068,636千円（前連結会計年度末は14,413,746千円）となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、その他事業の主要な設備として、太陽光発電所設備を取得したこと等により機械・運搬具が1,197,708千円増加しております。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,153,263	1,153,263	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	1,153,263	1,153,263	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	—	1,153,263	—	764,815	—	705,825

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 60,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,092,200	10,922	—
単元未満株式	普通株式 1,063	—	—
発行済株式総数	1,153,263	—	—
総株主の議決権	—	10,922	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が400株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

② 【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
美樹工業株式会社	兵庫県姫路市東延末二丁目50番地	60,000	—	60,000	5.20
計	—	60,000	—	60,000	5.20

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,391,649	3,921,806
受取手形・完成工事未収入金等	4,313,240	2,467,182
たな卸資産	5,122,282	4,140,030
預け金	44,686	100,158
その他	359,505	479,108
貸倒引当金	△3,077	△1,853
流動資産合計	12,228,287	11,106,432
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	2,995,807	2,741,388
機械・運搬具（純額）	774,772	1,812,398
工具器具・備品（純額）	709,740	697,704
土地	9,244,323	9,131,632
リース資産（純額）	106,759	71,763
建設仮勘定	52,540	742,288
有形固定資産合計	13,883,943	15,197,175
無形固定資産		
のれん	40,000	10,000
その他	20,907	12,727
無形固定資産合計	60,907	22,727
投資その他の資産		
投資有価証券	588,128	565,653
繰延税金資産	470,662	471,084
その他	491,749	494,134
貸倒引当金	△44,842	△43,542
投資その他の資産合計	1,505,698	1,487,330
固定資産合計	15,450,549	16,707,232
資産合計	27,678,836	27,813,665

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,779,634	1,634,120
短期借入金	2,420,000	2,600,000
1年内償還予定の社債	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	947,024	1,112,898
リース債務	52,428	32,323
未払法人税等	260,971	157,743
未成工事受入金	2,065,954	1,116,444
賞与引当金	136,711	317,628
役員賞与引当金	20,300	—
完成工事補償引当金	182,310	51,034
工事損失引当金	—	3,237
資産除去債務	63,066	50,000
その他	822,084	633,079
流動負債合計	9,050,486	7,708,510
固定負債		
社債	—	300,000
長期借入金	2,908,906	3,376,387
リース債務	60,644	41,443
退職給付に係る負債	541,654	566,362
役員退職慰労引当金	91,891	108,309
資産除去債務	240,821	273,158
その他	370,685	370,857
固定負債合計	4,214,604	5,036,517
負債合計	13,265,090	12,745,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	11,311,055	11,877,516
自己株式	△110,378	△110,378
株主資本合計	12,671,317	13,237,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,386	47,534
退職給付に係る調整累計額	△9,522	△8,117
その他の包括利益累計額合計	51,863	39,417
非支配株主持分	1,690,565	1,791,440
純資産合計	14,413,746	15,068,636
負債純資産合計	27,678,836	27,813,665

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	23,093,077	20,945,084
売上原価	17,982,144	16,233,632
売上総利益	5,110,933	4,711,451
販売費及び一般管理費	3,837,980	3,512,514
営業利益	1,272,952	1,198,936
営業外収益		
受取利息	6,931	5,147
受取配当金	4,256	5,796
持分法による投資利益	12,917	7,216
その他	26,597	18,901
営業外収益合計	50,703	37,062
営業外費用		
支払利息	25,782	22,637
社債利息	247	187
支払手数料	—	12,760
その他	6,593	7,958
営業外費用合計	32,623	43,543
経常利益	1,291,032	1,192,455
特別利益		
固定資産売却益	454,319	38,454
特別利益合計	454,319	38,454
特別損失		
減損損失	※ 113,734	—
固定資産売却損	—	4,662
固定資産除却損	4,822	7,233
投資有価証券評価損	—	5,524
持分変動損失	—	7,392
特別損失合計	118,556	24,812
税金等調整前四半期純利益	1,626,794	1,206,098
法人税等	342,537	377,050
四半期純利益	1,284,257	829,047
非支配株主に帰属する四半期純利益	83,711	109,541
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,200,545	719,506

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,284,257	829,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,519	△13,851
退職給付に係る調整額	749	1,405
その他の包括利益合計	6,268	△12,445
四半期包括利益	1,290,525	816,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,206,814	707,060
非支配株主に係る四半期包括利益	83,711	109,541

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

下記の債務に対して、保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
ユニット住宅購入者が 利用する住宅ローン	1,194,410千円	530,480千円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

場所	用途	種類	減損損失 (千円)
兵庫県神戸市	事業用資産	建物・構築物	9,266
		土地	104,468

当社グループは、賃貸不動産については物件ごとにグルーピングを行い、それ以外の資産については損益管理を合理的に行える事業単位で資産のグルーピングを行っております。

当第3四半期連結累計期間において、売却の意思決定をした事業用資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、当該資産グループの回収可能価額は売却見込額による正味売却価額により測定しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	357,838千円	394,838千円
のれんの償却額	30,000	30,000

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 定時株主総会	普通株式	54,662	50	2018年12月31日	2019年3月28日	利益剰余金
2019年7月29日 取締役会	普通株式	54,662	50	2019年6月30日	2019年8月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間
末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月25日 定時株主総会	普通株式	98,386	90	2019年12月31日	2020年3月26日	利益剰余金
2020年7月29日 取締役会	普通株式	54,659	50	2020年6月30日	2020年8月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 : 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設	設備	住宅	不動産賃貸	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	7,756,803	4,000,629	9,560,280	1,216,627	22,534,340	558,736	23,093,077	—	23,093,077
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	834	253,348	5,695	5,406	265,286	—	265,286	△265,286	—
計	7,757,638	4,253,978	9,565,976	1,222,034	22,799,626	558,736	23,358,363	△265,286	23,093,077
セグメント利益	493,532	160,553	117,263	298,100	1,069,449	201,101	1,270,551	2,401	1,272,952

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業、飲食事業、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 : 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設	設備	住宅	不動産賃貸	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	7,319,788	3,264,387	8,745,663	1,030,361	20,360,201	584,882	20,945,084	—	20,945,084
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	289	245,100	5,567	12,366	263,324	—	263,324	△263,324	—
計	7,320,078	3,509,487	8,751,231	1,042,727	20,623,525	584,882	21,208,408	△263,324	20,945,084
セグメント利益	471,941	145,007	149,156	305,046	1,071,152	131,842	1,202,994	△4,057	1,198,936

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業、飲食事業、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益	1,098円15銭	658円18銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	1,200,545	719,506
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(千円)	1,200,545	719,506
普通株式の期中平均株式数(株)	1,093,245	1,093,182

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年7月29日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………54,659千円

(ロ) 1株当たりの金額……………50円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………2020年8月28日

(注) 2020年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月12日

美樹工業株式会社

取締役会 御中

仰星監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 寺本 悟 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 池上 由香 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている美樹工業株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、美樹工業株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。